

## 記事内容

- ☆2025春季生活闘争 世論喚起街宣行動
- ☆パワーアップセミナー／全国一斉集中労働相談ホットライン
- ☆ミニマム賃金
- ☆地域協議会議長・事務局長紹介
- ☆地域協議会議長・事務局長紹介／第1回地協議長・事務局長会議
- ☆3.8国際女性デー／2025年度研修計画
- ☆3月の行動日程／埼玉県勤労者福祉センター(ときわ会館)お知らせ
- ☆あけぼのビル

## 【メインスローガン】

## みんなでつくろう!賃上げがあたりまえの社会

## ～2025春季生活闘争 世論喚起街宣行動～

連合埼玉および県内12の地域協議会では、あらゆる機会を捉え、2025春季生活闘争の重要性・必要性を訴え「底上げ」「底支え」「格差是正」をすべての労働者へ波及させるため、「05(れんごう)の日」「連合アクション」と連動した社会運動としての取り組みを以下のとおり推進していきます。

## 世論喚起街宣行動(連合埼玉)

- ◇1次行動 春闘開始宣言  
2月 4日(火) 18:00～ 大宮駅(東口)
- ◇連合アクション街宣行動  
2月27日(木) 18:00～ 大宮駅(東口)
- ◇2次行動 ミニマム賃金アピール街宣  
3月 6日(木) 18:00～ 大宮駅(東口)
- ◇4次行動 中小・地場組合解決促進アピール  
4月 8日(火) 18:00～ 大宮駅(東口)  
4月11日(金) 18:00～ 川越駅(東口デッキ)  
4月15日(火) 18:00～ 南越谷駅(南口)  
4月17日(木) 18:00～ 川口駅(東口)  
4月18日(金) 18:00～ 熊谷駅(北口)

## 世論喚起街宣行動(地域協議会)

- ◇1次行動 一斉労働相談・春闘開始アピール  
2月5日(水)～2月26日(水)  
ポスティングや駅頭にて実施
- ◇2次行動 ミニマム賃金アピール  
3月 5日(水)～3月21日(金)  
県内各駅頭
- ◇3次行動 ミニマム賃金要請街宣行動  
3月 5日(水)～3月21日(金)  
各地域商工会議所、商工会などへの要請行動
- ◇「地協ブロック」街宣行動  
3月18日(火) 18:00～ 東部地協内駅周辺  
3月19日(水) 18:00～ 西部地協内駅周辺  
3月24日(月) 18:00～ 南部地協内駅周辺  
3月25日(火) 18:00～ 北部地協内駅周辺  
連合車による埼玉県内周回と駅頭



2025春季生活闘争街宣時



# !!! みんなでつくろう!

# 賃上げがあたりまえの社会

## 2025春季生活闘争に向けて

### ～2025春季生活闘争パワーアップセミナーを開催～

1月26日(土)と2月1日(土)の2日間で「2025春季生活闘争パワーアップセミナー」を開催しました。今回は、トータル41名の皆様にご参加いただきました。

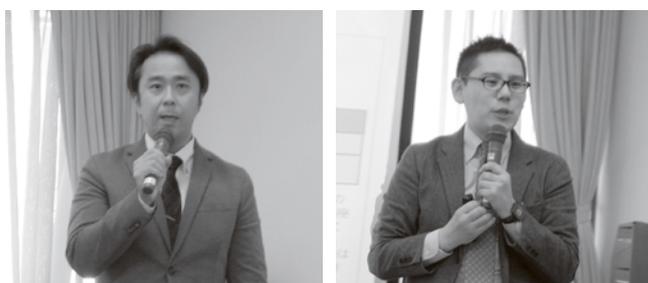
セミナーの冒頭、労働政策委員会委員長の高橋副会長より「2025春季生活闘争では、「賃金も物価も上がらない」という社会的規範(ノルム)を変え、賃金も物価も安定的に上昇する、新たな経済のステージを定着させる正念場を迎えている。「みんなでつくろう、賃上げが当たりまえの社会」をスローガンに掲げ、多くの方が生活向上を実感し、将来への希望と安心の持てる社会に向け、しっかりと役割を果たす」と挨拶がありました。その後、矢島副事務局長より「連合埼玉の取り組み」を中心に取り巻く環境や春闘方針、交渉に向けた心構えなどの説明がされました。

両日ともに午後からは、公認会計士の金森 俊亮氏から財務分析について講義がありました。講義では、財

務諸表の見方から始まり、安全性や効率性についての財務分析の手法が紹介され、最後にはグループワークによる財務分析をおこない、すぐに活用できる企業の財務分析を学んでもらいました。

参加者からは「非常に参考になった」「今日学んだ分析方法を早速活用する」などの声がありました。

連合埼玉では、今後の交渉状況を共有するなど加盟組合の交渉支援をおこなっていきます。



高橋労働政策委員長挨拶

財務分析の講義をいただいた金森氏

## 全国一斉集中労働相談ホットライン

### 「安心して働ける雇用を、すべての人に!～みんなの力で職場を改善しよう～」

連合は、すべての働く人の応援団として労働相談を常時受け付けており、多種多様な相談が寄せられています。より多くの方々から相談を受けるとともに現状や課題を社会へ発信することを目的に、年3回(2・6・12月)は統一テーマを掲げ、「全国一斉集中労働相談ホットライン」を実施しています。2月13日(木)～14日(金)の2日間で全国47地方連合会が一斉に労働相

談を受け、今回は、解雇・雇止めなど雇用不安の払拭に向けて「安心して働ける雇用を、すべての人に!～みんなの力で職場を改善しよう～」をテーマに実施しました。

連合埼玉では両日、ユニオンアドバイザーが対応し、18件の相談がありました。

今回の相談内容は連合本部とも共有し、今後の運動へ反映させていきます。



労働相談の様子①



労働相談の様子②



労働相談の様子③



労働相談の様子④



労働相談の様子⑤

「男女平等参画,ジェンダー平等の推進,均等待遇,仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」に向けた標語

◇最優秀賞 認め合い 個性輝く 新時代

(印刷労連関東北部甲信越地方協議会 凸版印刷労働組合・武内 駿)

※2024年度 ジェンダー平等・多様性推進に向けた「トップリーダー宣言」、標語については、連合埼玉ホームページにも掲載されています。

# 中小企業で働く人の賃金格差是正をめざす

## 【2025春季生活闘争・地域ミニマム運動】

中小企業労働者の賃金格差を是正するため連合埼玉では、「〇〇円以下の賃金をなくす」ことを目指し、「地域ミニマム運動」を推進しています。20歳～45歳(5歳毎)に基準を示し、個人の位置付けの確認や各労働組合の指針となるよう、また世論喚起含め、誰からも水準が理解される金額を設定し、35歳をポイントとしてミニマム賃金を設定しています。

2024年の県内で働く10,619名の個別賃金調査を実施し、以下の前提条件や個別賃金調査データに基づきミニマム賃金を設定しました。

**連合埼玉ミニマム賃金 35歳 243,000円**

### 【前提条件】

- ①賃金実態調査結果の製造業・男女の「第1十分位回帰値」を基本目安とし設定する。
- ②埼玉県的生活保護水準(1級地-2…所沢市、蕨市、戸田市、朝霞市、和光市、新座市)を下回らないことを考慮する。

### 【2024年個別賃金および2025ミニマム賃金設定額】

年齢	平均賃金	第9十分位	中位	第1十分位	24ミニマム	第1十分位差	25ミニマム
20歳	193,494	210,580	190,823	176,756	178,000	1,244	178,000
25歳	226,981	256,725	226,040	198,075	199,000	925	199,000
30歳	259,021	295,015	258,620	219,106	216,000	△3,106	224,000
35歳	298,756	353,045	297,971	240,400	233,000	△7,400	<b>243,000</b>
40歳	323,519	393,910	326,293	251,013	249,000	△2,013	257,000
45歳	332,135	411,792	329,104	253,341	261,500	8,159	261,500
1歳間差	5,546	8,048	5,531	3,063	3,340	—	3,340

30歳、35歳、40歳については、24ミニマム賃金と比較して第1十分位が上回っていることから、30歳、40歳の年齢ポイントのミニマム賃金を8,000円、35歳の年齢ポイントミニマム賃金を10,000円引き上げ、そのほかの年齢ポイントは、昨年と同額を設定する。

### 【今後の取り組み】

春闘3次行動として連合埼玉・地域協議会にて、経営団体、商工会議所および商工会などへミニマム賃金の要請をおこないます。

#### 1. 経営団体への要請

日 時:3月10日(月)～25日(火)  
 要請先:埼玉県経営者協会  
 埼玉県中小企業団体中央会  
 埼玉県商工会議所連合会  
 埼玉県商工会連合会  
 埼玉中小企業家同友会  
 要請者:連合埼玉

#### 2. 地域商工会議所および商工会への要請

日 時:3月5日(水)～21日(金)  
 要請先:各地域商工会議所  
 各地域商工会  
 要請者:地域協議会

## 2025年度 地域協議会 議長・事務局長 紹介

### さいたま市地域協議会



議長 大室 元信  
(JR総連)



事務局長 濱田 浩  
(JAM埼玉)

### 川口・戸田・蕨地域協議会



議長 長沢 英俊  
(UAゼンセン)



事務局長 山崎 行雄  
(自動車総連埼玉地協)

### 県央地域協議会



議長 渡辺 吉行  
(UAゼンセン)



事務局長 安東 卓也  
(電機連合埼玉地協)

### 川越・西入間地域協議会



議長 福木 孝  
(自動車総連埼玉地協)



事務局長 高橋 巧  
(電機連合埼玉地協)

### 朝霞・東入間地域協議会



議長 安多 信喜  
(自動車総連埼玉地協)



事務局長 西牧 善信  
(電機連合埼玉地協)

### 比企地域協議会



議長 村田 幸範  
(JAM埼玉)



事務局長 大野 政幸  
(JAM埼玉)

### 西部第四地域協議会



議長 大森 洋司  
(電機連合埼玉地協)



事務局長 秋元 正道  
(自動車総連埼玉地協)

### 熊谷・深谷・寄居地域協議会



議長 向井 清  
(電機連合埼玉地協)



事務局長 新井 晃一  
(埼玉県私鉄)

## 2025年度 地域協議会 議長・事務局長 紹介

### 本庄・児玉郡市地域協議会



議長 佐藤 幸男  
(JEC連合)



事務局長 飯島 清  
(JP労組)

### 秩父地域協議会



議長 佐藤 貴之  
(電機連合埼玉地協)



事務局長 伊藤 貴雄  
(UAゼンセン)

### 東部地域協議会



議長 田村 英男  
(JAM埼玉)



事務局長 斉藤 輝光  
(自治労)

### 北埼玉地域協議会



議長 松田 朋春  
(自動車総連埼玉地協)



事務局長 吉沼 眞矢  
(電機連合埼玉地協)

## 2025年度の地協活動に意思統一をおこなう

### ～ 2025年度第1回地協議長・事務局長会議を開催 ～

1月21日(火)埼玉共済会館会議室において、12地域協議会より16名が参加し、2025年度「第1回地協議長・事務局長会議」を開催しました。

当日は、平尾会長より開催のあいさつをいただいたのちに、出席者全員の自己紹介がされました。

報告事項では、2025年度「年間主要活動」計画や2025春季生活闘争各種行動について、政策・制度関係、地域事務所関係について報告がされました。

議事では、「地域メーデー」の開催についてや地域協議会の再編成に向けた取り組みについて(案)、「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」にともなう再配達削減推進に向けた取り組みについて確認・共有をしました。

特に地域協議会の再編成については、今後2年間で現在の東西南北ブロックと地域協議会とのあり方など、地協再編についての今後の議論の進め方などを提案しました。各地域協議会とも関心が強く、活発な意見交換となりました。



挨拶をする平尾会長



会議の様子

## 3.8国際女性デー 一人ひとりのパワーを結集! ～社会を変える取り組みの加速へ～



### 3月8日は、国際女性デー



1857年3月8日、ニューヨークの被服工場で働く女性達が低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源です。

その後、国連においてこの日は、「女性の権利と平等のために闘う記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。

連合も一緒に行動します。






〈今後の予定〉

### 3.8国際女性デー アピール街宣

- 日 時 2025年3月6日(木) 18:00～
- 場 所 JR大宮駅東口駅前
- 内 容 ・国際女性デーアピール  
・バラの香りの入浴剤とパンのメラミンスポンジ、ジェンダー平等推進委員会標語チラシ入りティッシュのセット

### 3.8国際女性デー 全国統一行動 中央集会

- 日 時 2025年3月6日(木) 18:15～
- 場 所 よみうりホール
- 規 模 1,500人規模  
(対面1,000人／WEB500以上)
- 内 容 アピール採択 等

## 2025年度連合埼玉年間研修計画

2月4日(火)開催の第3回執行委員会にて、今年度の研修計画が確認されました。下記の研修は、組合員・組合役員の知識・スキル向上を目的としており、組合役員教育プログラムをはじめ、あらゆる組合活動に直結する内容を予定しています。みなさんの参加をお待ちしています。

	日時	研修名
5月	12日(月)	組織拡大推進者連絡会
	17日(土)	組合役員教育プログラム①②
	21日(水)	組合役員教育プログラム③④
	23日(金)	オルガナイザー研修会(養成)
	24日(土)	組合役員教育プログラム⑤⑥
	28日(水)	組合役員教育プログラム⑦⑧
	31日(土)	災害ボランティア救援隊隊員研修
6月	未定	メンタルヘルスセミナー(応用編)
	3日(木)	政策フォーラム
	7日(土)	平和集会
	17日(火)	オルガナイザー研修会(実践編)
	18日(水)	トップセミナー
	23日(月)～25日(水)	平和行動in沖縄
	未定	女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)
7月	未定	女性のためのSTEP UPセミナー(中級編)

	日時	研修名
8月	4日(日)～6日(火)	平和行動in広島
	7日(木)～9日(土)	平和行動in長崎
	20日(水)	多様性推進セミナー
	27日(水)	組合役員教育プログラム⑮
	30日(土)	組合役員教育プログラム⑯
	3日(水)	組合役員教育プログラム⑰
9月	5日(金)～7日(日)	平和行動in根室
	9日(火)	フェアワーク推進セミナー事例シンポジウム
	13日(土)	組合役員教育プログラム⑱
	20日(土)	組合役員教育プログラム⑲
	24日(水)	組合役員教育プログラム⑳
	未定	メンタルヘルスセミナー(応用編)
	未定	女性のためのSTEP UPセミナー(上級編)
未定	青年委員会「コースラリー」	

## 現在予定される3月の日程表です

3月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	土	
2日	日	
3日	月	
4日	火	埼玉県地域能力開発促進協議会(10:00～・埼玉職業能力開発促進センター) ①埼玉県電気機械器具製造業最低賃金専門部会(9:30～・埼玉労働局) ②第30回労働相談情報共有会(13:30～・Web) ③埼玉労福協「第4回事業団体実務推進連携会議」(15:00～・ばる★てらす) 埼玉労働局「第2回埼玉地方労働審議会」(9:30～・ホテルプリランテ武蔵野)
5日	水	
6日	木	①第4回四役・執行委員会(10:00～/13:00～・ときわ会館) ②2025春闘 ミニマム賃金・国際女性デー(18:00～・大宮駅東口)
7日	金	①中央労働金庫「埼玉県役員推薦委員会」(9:20～・中央労働金庫埼玉県本部) ②中央労働金庫「県運営委員会」(10:00～・中央労働金庫埼玉県本部) ③埼玉地方最低賃金審議会(15:00～・ランド・アクシス・タワー)
8日	土	
9日	日	①朝霞市長選挙告示日 ②入間市議会議員選挙告示日
10日	月	2025春季生活闘争春闘3次行動 ミニマム賃金要請(15:00～・埼玉県中小企業同友会)
11日	火	
12日	水	
13日	木	
14日	金	①埼玉県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構「第2回運営協議会」(13:30～・埼玉職業能力開発促進センター) ②令和7年3月審査運営協議会(15:00～・北関東地域審査事務センター)
15日	土	
16日	日	①朝霞市長選挙投票日 ②入間市議会議員選挙投票日 ③千葉知事選挙投票日
17日	月	第2回政策・制度委員会(15:00～・連合埼玉会議室)
18日	火	①2025春季生活闘争「東部ブロック街宣行動」(1日・東部ブロック市内他) ②2025春季生活闘争春闘3次行動 ミニマム賃金要請(10:30～・埼玉県商工会連合会 他) 連合「『同一労働同一賃金』勉強会」(13:30～WEB)
19日	水	2025春季生活闘争「西部ブロック(比企、川越、西入間、朝霞・東入間、西部第四)街宣行動」(1日・西部ブロック市内他)
20日	木	
21日	金	第2回拡大アドバイザー会議(14:00～・連合埼玉会議室)
22日	土	
23日	日	①富士見市議会議員選挙告示日 ②連合関東ブロック連絡会「ろうきん協力会議」(23～24日・茨城 ホテルレイクビュー水戸 2階「常磐」) 連合関東ブロック連絡会「ろうきん協力会議」(23～24日・茨城 ホテルレイクビュー水戸 2階「常磐」)
24日	月	2025春季生活闘争「南部ブロック(さいたま、川口・戸田・蕨、県央)街宣行動」(1日・南部ブロック市内他)
25日	火	①第2回ジェンダー平等多様性推進委員会(15:00～・連合埼玉会議室) ②2025春季生活闘争北部ブロック「熊谷・深谷・寄居、本庄見玉都市)街宣行動」(1日・熊谷、本庄市内他)
26日	水	埼玉シニア連合「第10回ウォーキング」(9:00～・北鴻巣～行田方面) ①こくみん共済 coop「第440回理事会」(13:30～) ②こくみん共済 coop「第5回代表委員会」(14:00～) ③地方連合会「第8回事務局長会議」(13:30～) ④連合関東ブロック「第2回幹事会」(16:00～)
27日	木	①埼玉労福協「第6回理事会」(10:00～・ときわ会館) ②ときわ会館理事会(13:00～・ときわ会館)
28日	金	第2回ライフサポートステーション運営会議(15:00～・連合埼玉会議室)
29日	土	
30日	日	富士見市議会議員選挙投票日
31日	月	

## 無料法律相談会 予約受付中！



## 弁護士があなたの悩みをお聴きします。まずはお電話ください！

(一社)埼玉県労働者福祉協議会では、埼玉県内に居住、または通勤している勤労者のために、毎月『無料法律相談会』を開催しています。

一人で悩まず、お気軽にお電話ください。 ※事前予約制、対面でご相談をお受けします。



労福協のマスコット  
キャラクター きょうちゃん

- 日時** 会場によって、開催日が異なります。  
詳しくは埼玉労福協HPまたは下記QRコードをご確認ください。  
※各会場ともに13:00～16:00(一組あたり40分)
- 場所** 県内3カ所(さいたま市、川越、熊谷)のライフサポートステーション
- 相談料** 無料
- 申込方法** 各ライフサポートステーションにお電話してご予約ください。  
【受付時間】月～金 10:00～17:00  
・ネット21大宮(048-729-5052)  
・ネット21川越(049-292-1521)  
・ネット21熊谷(048-598-6321)



**問合せ** 一社)埼玉県労働者福祉協議会 048-833-8731  
URL (<https://saitama.rofuku.net/activity/legal-consultation/>)



◆みんなでつくろう!賃上げがあたりまえの社会～みんなであつくり!働く仲間の労働組合～

<直近2年の春季生活闘争を振り返る!>

先月より、構成組織における「2025春季生活闘争」がスタートしています。

「2025春季生活闘争」では、「みんなでつくろう!賃上げがあたりまえの社会」をメインスローガンに、「みんなでつくろう!働く仲間の労働組合から」をサブスローガンに掲げ、「みんなでつくろう!賃上げがあたりまえの社会」をめざし、各種取り組みを展開しています。

そのような中、本年度は「未来づくり春闘」を掲げて4年目の取り組みとなり、改めて、これまでの春闘について振り返ってみることにします。

まず、「2023春季生活闘争」では、急性インフレと慢性デフレが重なった物価上昇局面での取り組みとなり、スタグフレーションに陥るのを回避するためにも急性インフレから働く人の暮らしを守り、同時にこれまで以上の積極的な「人への投資」を中期的に継続することでデフレマインドを払拭し、経済社会のステージ転換をめざす、難しい取り組みでありました。

経済団体の問題意識も重なる部分が多く、人手不足への対応という要素も加わり、30年ぶりに3%台の賃上げの実現に繋げることができました。

次に、「2024春季生活闘争」では、物価が高止まりを続け、物価を加味した実質賃金がマイナスで推移する中での取り組みとなり、賃金の目安を「5%程度」から「5%以上」に変え、みんなで前年を上回る賃上げの実現を目指しました。

加えて、2024年版経営労働政策特別委員会報告では、「昨年以上の熱量と決意をもって物価上昇に負けない賃金引上げを目指す」「わが国がデフレから完全脱却できるラストチャンスが巡ってきているとの認識を社会全体で共有して取り組んでいかなければならない」という認識が表明されました。

その結果、全体では、33年ぶりの5%台の賃上げが実現し、ステージ転換に向けた大きな一歩を踏み出す結果となりました。

なお、昨年7月に示された「2024春季生活闘争」最終回答集計結果では、

○月例賃金改善(定昇維持含む)を要求した5,459組合中、5,450組合(99.8%)が妥結。その内、賃金改善分獲得が明らかな組合は3,130組合(57.4%)で、比較可能な2013春闘以降では組合数・割合とも最も高かった。

○平均賃金方式で回答を引き出した5,284組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で15,281円(5.10%)、昨年同時期比で4,721円増(1.52ポイント増)であった。

その内、300人未満の中小組合3,816組合は11,358円・4.45%(同3,337円増・1.22ポイント増)となった。最終集計まで5%超えを維持したのは33年ぶりであった。

以上となりましたが、大手企業と中小企業との企業規模間格差は明白であり、付加価値の適正分配、適切な価格転嫁等が求められています。

<2025春季生活闘争のポイントは!>

「2025春季生活闘争」は、2022春季生活闘争から「未来づくり春闘」をスタートし、今年度で4度目の取り組みとなります。2023春季生活闘争で転換点をつくり、2024春季生活闘争ではステージ転換にむけ大きな一歩を踏み出しました。そして、2025春季生活闘争では、この流れを社会の隅々まで浸透させ、新たなステージをわが国に定着させるための重要な取り組みとなります。

そのような中「2025春季生活闘争」のポイントは、

1. みんなでつくる!
  - ・みんなの賃上げでみんなの生活を向上させ、新たなステージを定着させる
  - ・「働くことを軸とする安心社会」に向け、格差是正と分配構造の転換に取り組む。
  - ・「みんなの春闘」で労働組合に集う仲間を増やし、集团的労使関係を広げる。
2. 賃上げがあたりまえの社会を!
  - ・「賃金も物価も上がらない」というノルムを変える。
  - ・適切な価格転嫁を進め、良いものには相応の値段がつくことを認め合う。

以上となります。

<2025春季生活闘争を進める上で!>

連合埼玉では、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの継続と「すべての労働者の立場にたった働き方」の改善に向け、構成組織と地域協議会と連携をはかり、街宣行動などをつうじた世論喚起(社会運動)および中小地場組合を支援する活動を推進します。

また、県内の末組織労働者や非正規労働者を含むすべての労働者への波及をはかる取り組みを展開します。

具体的には、中小組合の賃上げに向けて「地域ミニマム運動」を積極的に推進し、地域の賃金水準を組織内外・地域全体に開示することにより、地場中小の職種別賃金相場形成の運動を進めていきます。また、中小のみならず末組織の組合や有期・短時間・契約等で働く労働者の「底支え」「格差是正」へとつながる取り組みを強化します。

さらに、労働組合の立場からも、経営者団体および行政機関と連携し、社会全体への情報発信による世論形成に取り組めます。

<さいごに!>

「2025春季生活闘争」における賃上げの機運は高まっています。

すべての働く仲間の先頭に立って、生活向上につながる賃上げの実現、男女間、雇用形態間、企業規模間などの格差是正を目指すとともに、賃上げに向けた社会全体の機運を高めるべく、街頭行動や情報発信による世論形成に向けた取り組みを展開します。

2025.2.22